（1）　明治20年創刊　第40815号　（明治25年3月28日第三種郵便物承認）　THE JOMO SHINBUN　2008年（平成20年）12月25日（木曜日）　（日刊）

上毛新聞

発行所（〒371-8666）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
電話 市外局番（027）
（編集）254-9933（広告）254-9944
（販売）254-9911（事業）254-9955
（印刷）254-9965（出版）254-9966
（ファ）254-9981（総務）254-9984
（総部）254-9977（報道）254-9911
© 上毛新聞社 2008年

東武線に2駅新設

太田市計画

新病院や学校の利便性向上狙う

太田市は市内の公共施設への交通利便性向上のため、市街地の東武線に2つの新駅を整備する計画に着手した。東武桐生線太田駅―三枚橋駅間の総合太田病院新病院予定地の隣接地（大島町）と、東武伊勢崎線太田駅―細谷駅間の太田高校西側（西本町）。桐生線の新駅は新病院と合わせて複合的な施設に整備する方針だ。近く東武鉄道（本社・東京都墨田区）に正式に協議を申し入れ、県などと連携して2012年度までの実現を目指す。

桐生線と伊勢崎線

会社側に申し入れへ

施設が老朽化と総合太田病院は二年度までに、現病棟から約一キロ西の桐生線と県道太田天間ノ線バイパスに挟まれた農地に新築移転することが決まっている。桐生線の新駅は、これに合わせ、病院の北東へ一体的に建設。駅舎と病院の敷地を直結させ、患者や家族の交通の便を確保する。

周辺の太田女子高校や県東部県民局、太田署、市消防本部といった公共施設に訪れる人々の利用を見込むほか、病院の駐車場を活用するなどパーク・アンド・ライドを推進する。

伊勢崎線の新駅は、西本町の線路をまたぐ浜四跨線橋の下に設置する計画。跨線橋東側の太田高校や西側のぐんま国際アカデミーに通う児童、生徒のほか市営斎場来場者の利用を想定している。

鉄道利用の推進に向けては県が県鉄道網活性化研究会（座長・今城英夫東文化大教授）を今年八月に発足。新駅設置を含めた方策を研究している。

太田市は同研究会へ新駅の計画を提出するなど、県に協力を求めている。研究会事務局の県交通政策課は「具体的な協議はまだだが市の計画が研究会の議題になる可能性はある」としている。

東武鉄道は新駅について「市からの申し入れがあれば協議に応じる」としている。

電飾された沢入駅の車内からの眺め（下）と、列車が入る花輪駅

立候補予定者説明会に5陣営

前橋市・勢多郡区議選

一月十六日告示、二十五日投開票の前橋市・勢多郡区議補欠選挙（欠員二）の立候補予定者説明会が二十四日、県庁で開かれ、出馬の意思を明らかにしている桑原功氏（63）、後藤哲氏（48）、店橋世津子氏（47）、山本龍氏（49）の各陣営のほか、昨年の県議選同選挙区で桑原氏とともに民主党公認で立候補した亀田好子氏（53）の陣営が出席した。

幻想的な旅をどうぞ

わたらせ渓谷鉄道

師走点描

十五日、県庁で開かれた鉄道存続に向け沿線住民でつくる実行委が実施している、今年で五回目。十五駅で計十五万球が点灯し、親子連れや写真愛好家らが幻想的な駅舎をめぐる旅を楽しんでいる。

点灯は午後四時半から午後十一時ごろの最終列車通過まで。

わたらせ渓谷鉄道の各駅で恒例のイルミネーションが行われている。二月十五日まで。

鉄路存続に向け沿線住民でつくる実行委が実施している、今年で五回目。十五駅で計十五万球が点灯し、親子連れや写真愛好家らが幻想的な駅舎をめぐる旅を楽しんでいる。

点灯は午後四時半から午後十一時ごろの最終列車通過まで。

南牧68%全国一

30年後の人口減少

05年基準 神流2位 県は170万人割り込む

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は二十四日、二〇〇五年と比べた三十年後の人口推計を発表した。減少率は南牧村が68・3%、神流町が66・4%で、全国千八百五の市区町村のうちの一、二位。三十八市町村のうち人口増を見込んだのは富岡町（12・8%増）など三市町村だけで、県人口は16・0%減少し、百七十万人を割り込むとの見通しだ。

関連記事 4面

〇五年の国勢調査を基に過去の人口移動率から計算、今後の市町村合併の影響などは加味していない。

〇五年の県人口は二百二万四千百三十五人で、一〇年代の前半には二百万人、三五年までには百九十万人を割り込み、三五年には百六十九万九千四百四十人になると推計している。

南牧村は〇五年の二千九百二十九人から三五年には九百二十九人に、神流町は二千七百五十七人から九百二十人にそれぞれ減少する可能性があるという。

増加率を見込んだのは富岡町のほか榛東村（1・2%増）、伊勢崎市（0・9%増）。

小麦の新品種登録

県が出願「みのりゆたか」収量多く倒伏に強さ

県は二十四日、農業技術センターが開発した小麦の新品種「みのりゆたか」（仮称）の品種登録を農林水産省に出願したと発表した。

現在の主要品種の「農林61号」に比べ10%ほど収量が多いうえ、風雨による倒伏が起きにくく、効率よく粉となるなどの特長がある。

県は関東地域の主要品種化を目指し、茨城、栃木、埼玉の三県と連携して作付け拡大に取り組む。

農林61号の作付けは県内で本年産が三千六百十㌶（シェア56・9%）、関東で二〇〇七年産が二万五千四百十㌶（同71・4%）に上っている。製粉・食品メーカーなどから安定した支持を得ているものの、風雨による倒伏が起こりやすいなどの欠点があった。

県は一九九二年度に新品種の研究に着手。「東山25号」と「西海一68号」を交配し選抜を繰り返した後、実用化に向けた栽培試験などを経て、今月十八日に種苗法に基づいて品種登録を出願した。

みのりゆたかは、農林61号と比較して①病気に強い②草丈が短く倒れにくい③収量が10%程度多い④四日ほど早く収穫できる⑤のびるいい黄白色になる―という。

県農政課は来年秋に本県を含む四県で六十㌶の作付けを見込んでおり、「農林61号からの品種の転換を図り、小麦生産県のイメージアップに使いたい」としている。

高校生の奨学金保証人要件緩和

保護者の解雇など対象

県教育文化事業団は二十四日、高校生などに対する奨学金について、伯父など第三者の連帯保証人がいなくても、保護者が保証人となるだけで借りられるようにすると発表した。景気悪化を受けた来年三月までの特別措置。

十月以降に保護者が勤務する会社の倒産や解雇など家計が急変した家庭の高校生が対象。無利子貸与分の額は一万八千一三万五千円。期間は今月から来年三月までだが、申請すれば十月分からさかのぼって借りられる。

公約の30人学級「財政難で困難」

大沢知事見直しか

大沢正明知事は二十四日の定例会見で、知事選のマニフェストに掲げた小学一年生から中学一年生までの三十人学級の早期実現について「厳しい財政状況を踏まえると、非常に難しさがある」との認識を示した。

今年最後の定例会見となるため、マニフェストの進ちょく状況について尋ねられた大沢知事は三十人学級について触れ、「小学校の